

宝塚市庁舎、市民ホールの特徴（一例）



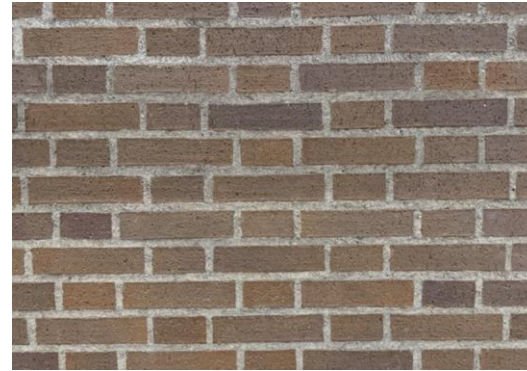
宝塚市庁舎（村野藤吾氏設計 1980年完成）

※バルコニーを支える円柱や、円筒状の議事堂が特徴的で、近代的にしてややクラシック風な表現がなされている。



市民ホール

※古典主義的なデザインの柱に支えられたベランダが回廊のようにめぐり、大きな壁で囲われていることで、重厚な空間となっている。



ホール壁面のタイル

※濃淡のグラデーションと太い目地によって、レンガのように見える。



らせん階段

※段裏意匠などに村野氏のこだわりが感じられる。